



3/8 桃の栽培技術を学ぶ (農業振興センター)

「平成24年度高梁市ピーチスクール」(市主催)の講習会と閉講式が行われました。7回目となった今回の講習会では、桃の苗の植え替えを実習。農業普及指導センターの小原さんの説明を聞いた後、根を傷つけないようスコップで丁寧に苗を掘り出し、無事植え替えを終えました。引き続き閉講式が行われ、6人の受講生に修了証を授与し、今年度の講習会を終えました。

3/9 郷土の歴史を見て学ぶ (備中松山城)

「高梁歴史いろは塾」(市主催)が開催されました。今回のテーマは「備中松山城の中世を歩く」。市文化財主事の説明を受けながら大松山城跡、天神の丸跡などを見て歩きました。異なる時代に築かれた大松山と小松山の構造の違いについて説明があり、参加者は熱心に聞き入っていました。



3/9 日本の伝統文化を体験 (文化交流館ほか)

「日本の伝統文化を学ぼう!～たかはし広がる子どもの夢事業～」(教育委員会主催)が行われました。文化交流館では、成羽備中神楽育成会による「猿田彦の命の舞」の披露のほか、会場には神楽に使われる実際の衣装や小道具などが展示されました。また、高梁稻荷神社では雅楽演奏や衣装の着付け体験が行われ、初めての体験に子どもたちは目を輝かせていました。

▼ふと気づくと3月。朝の日差しがまぶしくなってきました。月に数回、通学路であいさつ運動をしています。「おはようございます!」のあいさつで、こちらまでさわやかな気持ちになります。子どもたちのために、何かできることはないかと活動を始めて4年。いつの間にか、こちらが元気をもらっていました。ありがとうございます。(KH)

▼公聴広報担当になって1年がたちました。「より分かりやすく」を目標に、自分なりに思いついたことを広報紙や行政チャンネルなどに反映してきましたが、何か気づきましたか?自分自身はというと、不規則な食生活のためか1年間で6kg太り、おなかが子どもの遊び道具になってしまいました(涙)。(TK)

▼東日本大震災の発生から2年が経過しましたが、今もなお多くの人が避難生活を強いられています。これまで、本市でも職員派遣や義援金など、市民の皆さんの協力を得て、さまざまな支援を行ってきました。これからも引き続き、復興に向けての支援や活動が必要ですが、一人一人が教訓を生かし、次世代につなげていかなければと思っています。(KY)

編集後記



2/17 もちつきで異文化交流 (青少年研修センター)

「餅つきDEフェスタ～外国人と市民の交流会2012」(高梁市国際交流協議会主催)が行われ、吉備国際大学の留学生と市民約30人が参加しました。初めて成羽地域での開催となった今回は、地元有志団体「天満ABM会」の協力により、留学生たちが日本のもちつきを体験。交代できねを持ち、掛け声を合わせてつき上げました。つき上がったもちにきな粉をつけたりあんこを包んで食べ、交流を深めました。

2/23 食と運動で健康になろう (文化交流館)

「我が家ではつらつ研修大会」(同実行委員会主催)が行われました。今年で3回目となる研修大会。会場では、市栄養改善協議会連合会の作ったカブのポタージュの試食をはじめ、食事の栄養バランス診断、健康チェック、エアロピクス教室などが行われました。また、市街地ウォーキングも実施され、参加者は食や運動を通じて健康づくりの大切さを再認識していました。



3/7 笑顔で食事をしよう (総合文化会館)

「まるごと食育講座」(市、教育委員会主催)が行われました。今年で2回目となる今回は100人が参加。野菜ソムリエの三宅八重子さんが「笑顔の食事でみ～んな元気!」と題して講演されました。講演では、「イライラして料理をすると、濃い味付けになりやすい。ゆったりと落ち着いた気持ちで料理してうす味にしよう。」といった食と精神面に関する話もあり、参加者は知識を深めていました。